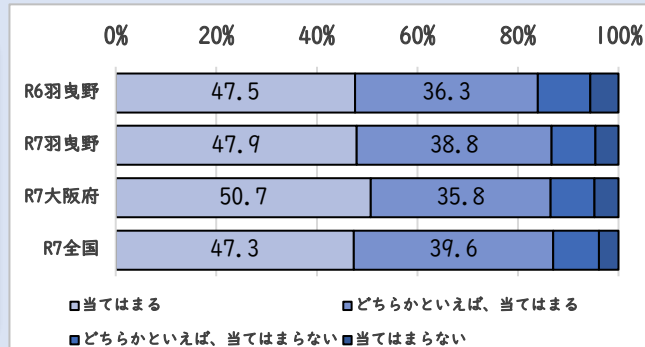


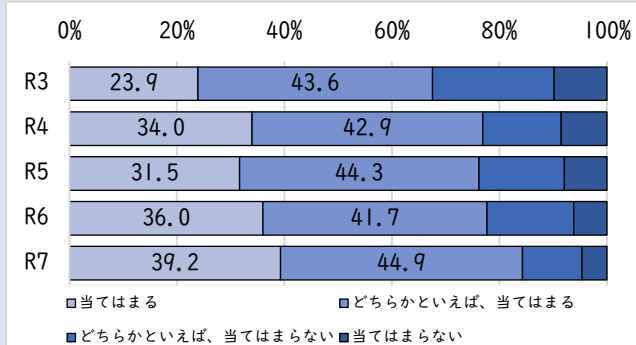
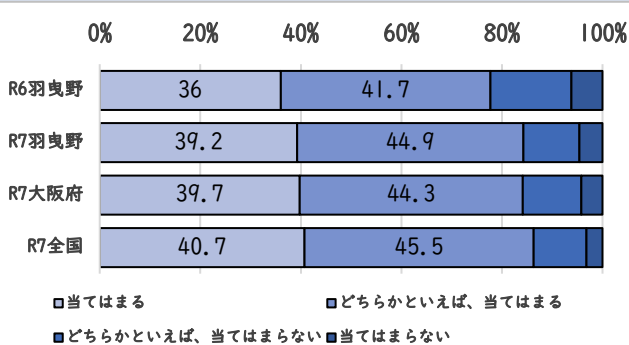
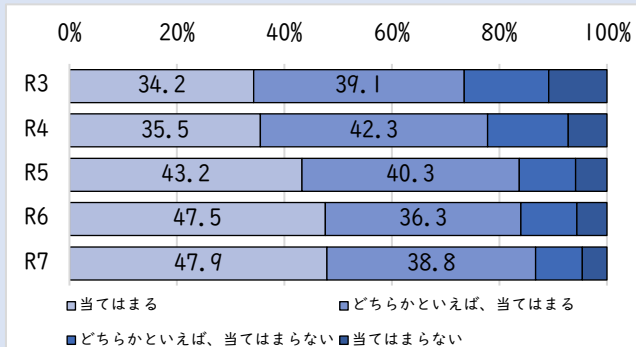
令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

ウェルビーイングに関すること

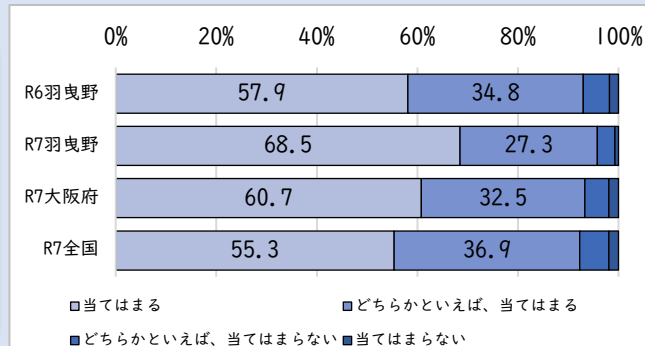
自分には、よいところがあると思いますか



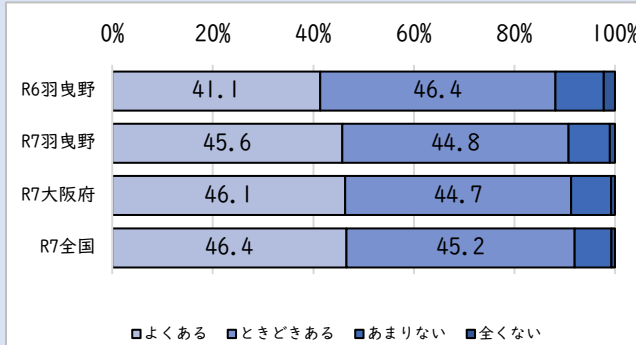
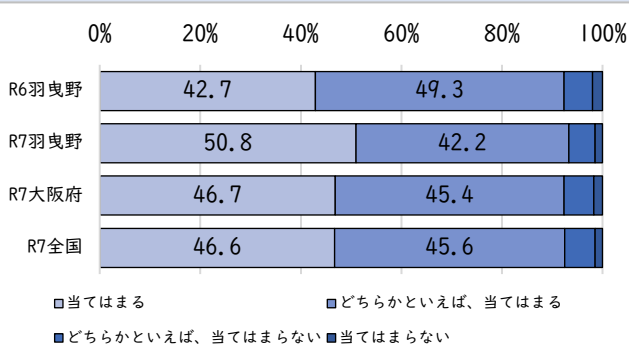
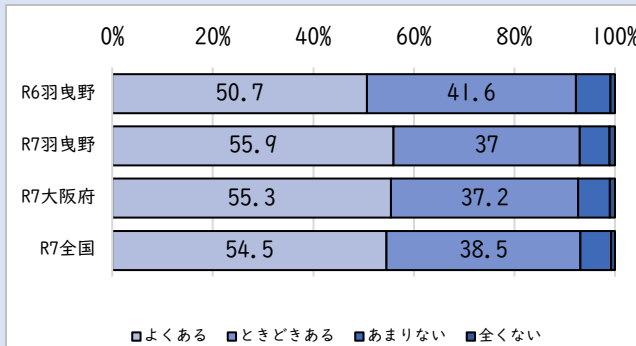
[R3～R7 羽曳野市の経年比較]



先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味します。本市では、「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で小・中学校ともに年々改善傾向があります。学校における教員との関係性についても、小・中学校ともに改善傾向にあり、自己の成功体験や他者から認められる経験が、幸福感の向上につながっていると考えられます。

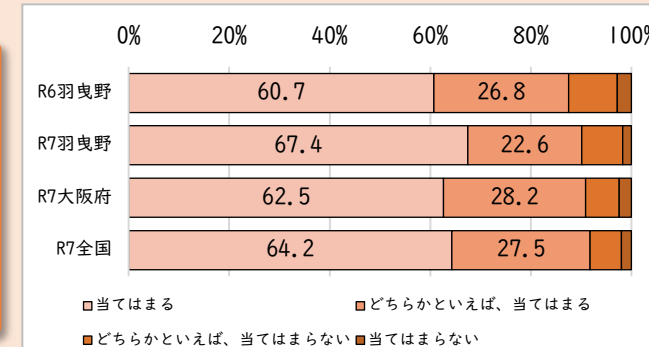
各質問で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等と回答した児童生徒の割合の合計を「肯定的な回答」として考えています。

羽曳野市教育委員会

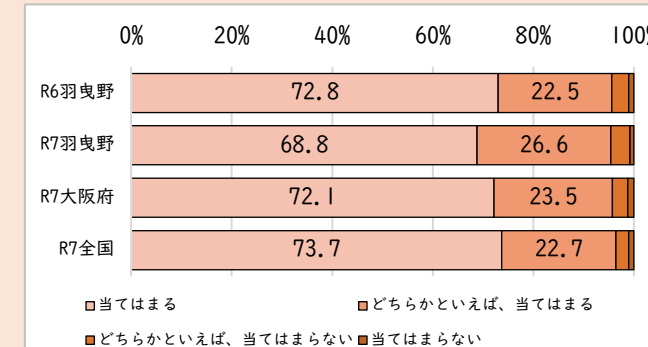


人とのかかわりに関すること

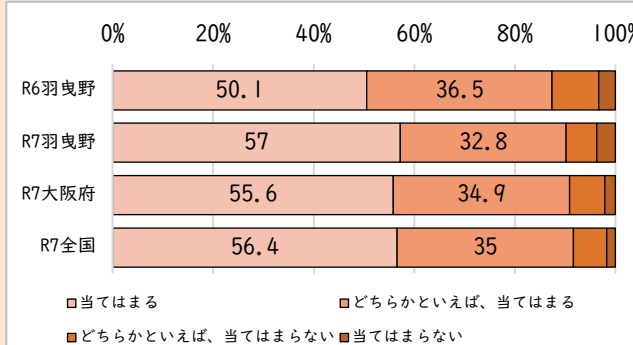
友達関係に満足していますか



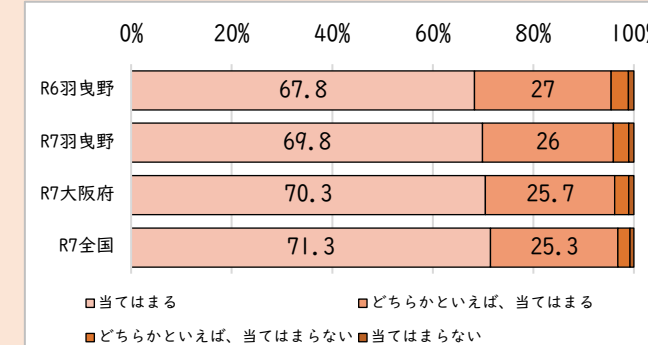
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



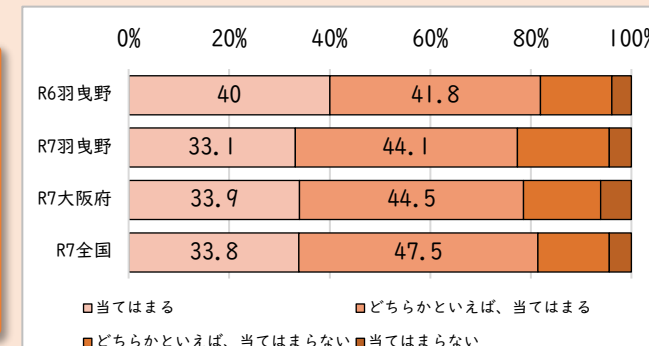
小学校



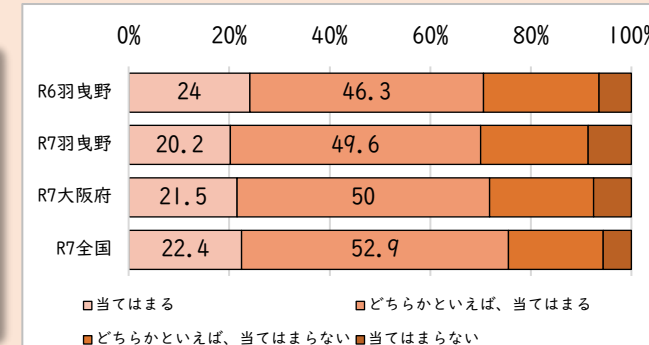
中学校



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



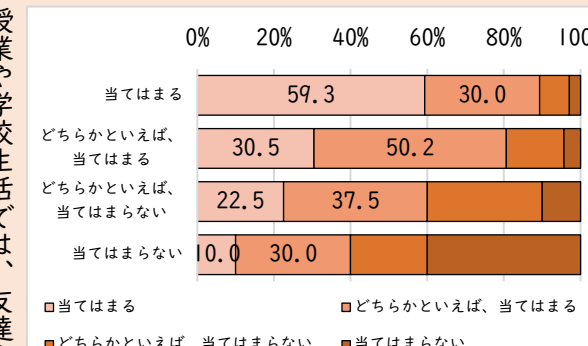
小学校



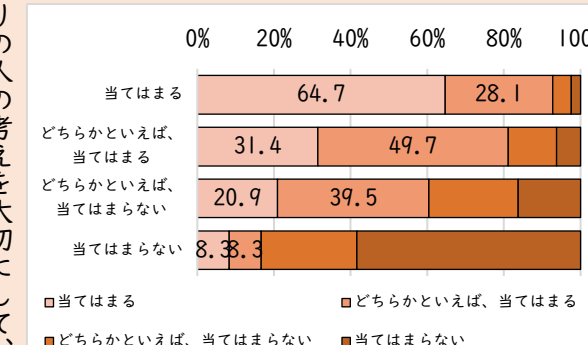
中学校

【協働的な学び】×【学校に行くのは楽しい】

学校に行くのは楽しいと思いますか



授業にや協力校生活がでらは、課題の達解や決周にり取のり人組のん考でえをを大す切かにして、お



各学校において、授業をはじめとする様々な場面で他者との関わりや集団づくりに取り組んでおり、友人関係に満足している児童生徒が増加しています。また、学校において協働的な活動に取り組んだ児童生徒ほど、学校に行くことを楽しいと感じてくれています。一方で、他者の役に立つことや地域の役に立ちたいと考える児童生徒は減少しており、地域への愛着を育む学習が必要と言えます。